

良質米稲作ごよみ

J A た が わ
J A た が わ 営 農 部 ☎44-3568
飯塚農林事務所田川普及指導センター ☎42-1428

令和6年産

種子更新100%の実施

生産履歴は必ず記帳しましょう。

良食味米生産のため玄米水分は15.0%

フルイ目1.85mm

品種	5月			6月			7月			8月			9月			10月					
	旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	上		
生育期間	田植			分けつ期			幼穂形成期			出穂期			登熟期			成熟期					
水管理	浅水管理			間断かん水			中干し			間断かん水			浅水			間断かん水			落水		
主な作業 (液剤)	箱施薬散布 田植(5/25~6/10)			除草剤散布 綿葉枯病			田植後30日頃 コラトップ粒剤5.3~4kg/10a またはジャンボP 10~13個/10a (いもち病)			モンセレンフロアブル① 又はリンパー粒剤 (紋枯病)			エクシードフロアブル② モンセレンフロアブル① (イネカメムシ・紋枯病)			種籾期 ビームエイトエクシードソル③ (いもち病・ウンカ類・カメムシ類)			セジロウカ イネカメムシ		
	同上			コラトップ同上			バリダシン粉剤DL 3~4kg/10a			エクシード粉剤DL 3kg/10a			フレードスタークル 粉剤DL 3~4kg/10a			エクシード粉剤DL 3kg/10a					
元気つくし	コブノメイガ			田植(6/10~6/20)			除草剤散布 葉いもち			田植後30日頃 コラトップ粒剤5.3~4kg/10a またはジャンボP 10~13個/10a (いもち病)			種籾(出穂20~18日前) モンセレンフロアブル① 又はリンパー粒剤 (紋枯病)			種籾期 ビームエイトエクシードソル③ (いもち病・ウンカ類・カメムシ類)			トビロウカ 穂首いもち		
	同上			コラトップ同上			バリダシン粉剤DL 3~4kg/10a			エクシード粉剤DL 3kg/10a			フレードスタークル 粉剤DL 3~4kg/10a			エクシード粉剤DL 3kg/10a					
ヒノヒカリ	コナギ(幼苗期)			田植(6/10~6/20)			除草剤散布 紋枯病			田植後30日頃 コラトップ粒剤5.3~4kg/10a またはジャンボP 10~13個/10a (いもち病)			種籾(出穂20~18日前) モンセレンフロアブル① 又はリンパー粒剤 (紋枯病)			種籾期 ビームエイトエクシードソル③ (いもち病・ウンカ類・カメムシ類)			ミナミアオカメムシ ミナミアオカメムシ(5齢幼虫)		
	同上			コラトップ同上			バリダシン粉剤DL 3~4kg/10a			エクシード粉剤DL 3kg/10a			フレードスタークル 粉剤DL 3~4kg/10a			エクシード粉剤DL 3kg/10a					

(上記の農薬、肥料等の散布時期、水管理の時期等は、田植時期、天候等によって変動します。)

○施肥の目安 (kg/10a)

品種	元肥名	種肥(NK化成2号)					
		平地地 山ろく地	中山間地	前作大豆 前作レンゲ	平地地 山ろく地	中山間地	前作大豆 前作レンゲ
夢つくし	クミアイ化成ベスト444	30	25	20	15	10	15
	機械施肥専用242号(側条施肥)	30	25	20	0	0	0
元気つくし	クミアイ化成ベスト444	30	30	20	20	15	20
	機械施肥専用242号(側条施肥)	30	30	30	0	0	0
ヒノヒカリ	クミアイ化成ベスト444	35	30	25	20	15	20
	機械施肥専用242号(側条施肥)	40	30	30	0	0	0
全品種 (土壌改良材) (いずれか)	ミネラルG	160~200kg					
	ケイ鉄	160~200kg					
	ケイカル	160~200kg					
	ホスピタ	40kg					
	とれ太郎	60kg					

・種肥は、上表の基準を上限とし、葉色を見て施用量を加減する。
・土作りと食味向上、いもち病予防や倒伏防止のため、前作収穫後から耕起前までに土壌改良材を制しましょう。

○箱施薬

農薬名	主な対象病害虫				使用量	使用時期
	ウンカ類	コブノメイガ	いもち病	紋枯病		
防人箱粒剤	○	○	○	—	50g/箱	播種時(覆土前)~移植当日
ブイゲットハコレンジャーL粒剤	○	○	○	○		緑化期~移植当日
Dr.オリゼリディア箱粒剤	△	—	◎	—		移植7日前~移植当日

注)1箱あたり必ず50gの散布を守らないと効果が劣ります。
散布時に茎葉に付着した薬剤は払い落とすのち、十分灌水してください。

○本田液剤体系

番号	農薬名	主な対象病害虫	使用量(10a当たり)			使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	防除時期
			希釈倍率	薬量	希釈水量			
①	モンセレンフロアブル	紋枯病	1,500倍	66ml	100ℓ	21日前まで	4回以内	生育期~出穂前
②	エクシードフロアブル	ウンカ類・カメムシ類	2,000倍	30~75ml	60~150ℓ	7日前まで	3回以内	種籾期以降
③	ビームエイトエクシードソル	いもち病・ウンカ類・カメムシ類	1,000倍	60~150ml	60~150ℓ	7日前まで	3回以内	
—	スタークルメイト液剤10	ウンカ類・カメムシ類	1,000倍	60~150ml	60~150ℓ	7日前まで	3回以内	
—	ブラシフロアブル	いもち病・稲こじ病	1,000倍	60~150ml	60~150ℓ	7日前まで	2回以内	

注)病害虫の発生状況に応じ、選択して散布します。
液剤体系でも、「夢つくし」「元気つくし」は田植後30日頃のコラトップを必ず散布してください。

○本田粒剤体系

防除時期	農薬名	主な対象病害虫	使用量(10a当たり)			使用時期	本剤の 使用回数
			希釈倍率	薬量	希釈水量		
田植後30日頃	コラトップ粒剤5	いもち病	3~4kg	—	—	葉いもちに対しては初発10日前~初発時	2回以内
	コラトップジャンボP	いもち病	10~13個	—	—	穂いもちに対しては出穂30日前~5日前まで	
種籾らみ期	リンパー粒剤	紋枯病	3~4kg	—	—	種籾期	2回以内
種籾期	アルパリン粒剤	ウンカ類・カメムシ類	3kg	—	—	収穫7日前まで	3回以内
	スタークル豆つぶ	ウンカ類・カメムシ類	250~500g	—	—	収穫7日前まで	3回以内

○その他の補正防除薬剤

主な対象病害虫	農薬名	使用量(10a当たり)			使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数
		希釈倍率	薬量	希釈水量		
スクミリンゴガイ	スクミノン	—	1~4kg	—	60日前まで	2回以内
いもち病	ビーム粉剤DL	—	3~4kg	—	7日前まで	3回以内
	ノンプラス粉剤DL	—	3~4kg	—	7日前まで	2回以内

○除草剤防除体系

ステージ	除草剤の名称	使用時期	使用量(10a当たり)		使用上の注意
			薬量	希釈水量	
田植同時	イノーバDX1キロ粒剤51	移植時~移植後~ノビエ2.0葉期まで	1kg	—	薬剤が水中に分散してからほ場全体に効果を発揮するので、田植後速やかに投入する。
	ラオウ1キロ粒剤(大型規格)	移植後~ノビエ2.5葉期まで	1kg	—	—
田植後	カウンスルコンプリート1キロ粒剤	移植後~ノビエ3.5葉期まで	1kg	—	・概ね全草種を抑えることができる。 ・田面が露出しないように灌水して散布する。 ・散布後7日間は落水や掛け流しをしない。 ・浅植えや深植えの場合は、薬害を生ずる恐れがあるので注意する。
	カウンスルコンプリートジャンボ	移植後5日~ノビエ3.5葉期まで	10個(300g)	—	—
	クリンチャー1キロ粒剤	移植後7日~ノビエ4葉期まで	1kg	—	—
生育期	クリンチャーE	移植後25日~ノビエ5葉期まで	1.5kg	—	・ヒエが残った場合に、田面が露出ないように灌水して散布し、7日間は落水や掛け流しをしない。 ・クリンチャーEWを使用の際は除草剤を併用する。 ・クリンチャーEは落水散布も可。
	クリンチャージャンボ	移植後7日~ノビエ4葉期まで	20個(1kg)	—	—
	クリンチャーE-W	移植後25日~ノビエ5葉期まで	30個(1.5kg)	—	—
	クリンチャーE	移植後20日~ノビエ6葉期まで	100ml	25~100ℓ	—
	バサグラン粒剤	移植後15~55日	3~4kg	—	・広葉雑草が残った場合に落水して散布する。 ・散布後少なくとも3日間は落水状態を保つ。
	バサグラン液剤	移植後15~55日	500~700ml	70~100ℓ	—
	ウイドコア1キロ粒剤	移植後7日~ノビエ4葉期まで	1kg	—	・ノビエ4葉期まで、ホタライは4葉期までで散布してください。 ・灌水状態で田面に均一に散布してください。水の出入り止めて少なくとも3~5日間はそのままの灌水状態を保ち、田面を露出させないように注意してください。
クリンチャーバスメ液剤	移植後15日~ノビエ5葉期まで	1000ml	70~100ℓ	・ヒエと広葉雑草が残った場合に、落水して散布する。 ・散布後、少なくとも3日間は落水状態を保つ。	
ワイドアタックSC	移植後20日(種5葉期以降)~ノビエ6葉期まで	100ml	100ℓ	—	

*使用時には、農薬ラベルに必ず登録内容を確認する。

この栽培層は、JA米の生産基準を兼ねています。JA米とそれ以外を区別しJAに出荷しましょう。

●求められる「たがわの米」づくりの推進
・適期植えて高温障害を回避し、適期防除、適期収穫による「高品質」なたがわの米づくり
・栽培履歴の記帳による「安全・安心」なたがわの米づくり
・適正な施肥による「おいしい」なたがわの米づくり
・消費者に「求められる」なたがわの米づくり

グリーンあい ☎22-2387 グリーンゆう ☎72-8290 グリーン添田 ☎82-2815

稲作

下記URLもしくはQRコードより閲覧ください

http://ja-tagawa.or.jp/einou



令和6年1月作成